

税務課

だれでもできる青色申告

「簿記」と聞いただけで難しいもの、頭の痛くなるものと決め込んでしまふ人がたくさんいます。「簿記」とは、帳簿記入、記帳の方法のことと奥さま方が毎日つけている家計簿を立派な簿記です。そして合理的な節税をするために簿記が必要となります。そこで今回は、青色申告について説明してみよう。

※ どの程度の

記帳でよいのか
「経営の合理化や節税には記帳や青色申告が必要なのは分かっているから税負担の軽減が図られていることから税負担の軽減が図られていた。形式については、簡易な帳簿といは、形式について特に定められていませんが、奥さんがつけている家計簿と同じような現金出納帳を中心に、売掛帳、買掛帳、経費帳、固定資産台帳の五冊だけ記帳していただくこととなります。

※ 青色申告をする
どんな特典があるか

映画・演劇等の免税点が引上げ

映画・演劇等がかって娯楽の王座を占めており、昭和三十二年、三十三年の最盛期には、年間十一億人を超える人々が映画館へ入場していましたが、テレビの出現により、映画、演劇をはじめ、演芸、スポーツ等の娯楽をお茶の間で観賞できるようになり、最近、映画館への入場者は著しく減っているようです。

このように趣味、娯楽の分野においても多様化が行われ、映画、演劇等の地位が低下してきましたが、映画、演劇等が文化の向上、社会教育の振興に役立つ面をもつ

☆税率の一本化
税率が催物の種類や入場料金の高低にかかわらず、一律一〇%（改正前五%）になりました。

☆映画は一千五百円まで免税
映画は一千五百円（改正前百円）演劇、演芸、音楽、スポーツ及び見せ物は三千円（改正前百円）まで入場税はかからなくなりました。

☆税率の一本化
税率が催物の種類や入場料金の高低にかかわらず、一律一〇%（改正前五%）になりました。

犬の放し飼いは、多くの人が迷惑します。絶対やめて下さい。

帳簿に基づいて正しい申告をする人には、所得や税額の計算などいろいろな有利な取扱いをすることになっています。

（青色申告控除）
一律十万円を所得金額から必要経費として特別に控除できます。

（青色専従者給与）
事業を営んでいる人と一諾に生活している奥さんや十五才以上の

厚生課

サラリーマンの奥さんも国民年金へぞうぞ

ご主人が厚生年金や共済組合などに加入しているサラリーマンの奥さんは、ご主人の加入している年金制度からある程度の保証が得られることから、国民年金に必ず加入する。対象からは除かれていた。しかし、その年金は、あくまで夫を通じているもので、奥さん自身の年金とはいえません。そこで国民年金では、これらサラリーマンの奥さんに、希望して加入できる。任意加入の道を開いております。国民年金に任意加入すると、老齢年金ばかりでなく、別表のように万一の場合にも保障が得られ、このほか、夫を通じての年金と併せて受給することもできるので、老後はもとより、万一の場合の備えにもなります。また、サラリーマンの奥さんは、夫が厚生年金などに加入していた期間（任意加入できた期間）も老齢年金の受給資格期間

ご主人の年金から	ご主人の年金から
加給金	加給金
なし	なし
遺族年金(ご主人の年金の半分)	遺族年金(ご主人の年金の半分)
なし	なし

国民年金に加入して

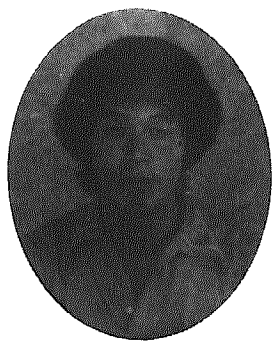
おくこんなにも有利…
(ご主人が厚生年金加入の場合)

- 在宅重度障害者に福祉手当が支給
- 昭和五十年十月から在宅の重度障害者のかたがたに福祉手当が支給されることになりましたので該当されると思われる人は十月三十一日までに手続きをすませて下さい。福祉手当制度は次のとおりです。
- 一、支給要件
 - (一) 精神及び身体に重度の障害を有し、日常生活に常時介護を要すること。
 - (二) 日本国籍を有し、現に日本国内に所在地を有すること。
 - (三) 在宅の障害者で廃疾を事由とする他の制度による給付を受けていない者（障害福祉年金、特別児童扶養手当は併給できる）
 - 二、支給対象障害者
 - (一) 日常生活に常時介護を要する程度の身体障害者（身体障害者手帳一級及び二級の一部を含む）
 - (二) 長期にわたる安静を必要とする症状の療養者
 - (三) 日常生活において常時監護を要する精神障害者
 - (四) 日常生活において常時介護又は介護を要する精神及び身体障害者あわせもつ者
 - 三、手当額
 - 月額一人四〇〇〇円
 - 四、支給月
 - 一月、五月、九月
 - 五、所得制限

農民の船で中国各地を視察して

『農民の船』で中国各地を視察して

日中友好会主催の「農民の船」に本町より、島原本村の山崎一栄さん(29)が参加、東北六県、長野、新潟から集った、役員、随行人、団員四八三人とともに、八月十日から二十六日まで、中国の農業、工業、諸施設などを見学し、また、友好親善をさらに深め過日帰国されました。そのレポートを紹介いたします。



山崎一栄さん

去る八月十日、中国の客船「耀華号」で、新潟を出港、中国の上海、天津、北京とその周辺を見てまいりました。なにしろ船旅でしたので、期間は長かったが、上陸してからの日数が短かく（船九日間、陸八日間）その短かい日数の中で、人民公社、工場、学校、病院、体育学院、工業館、労働者新村（団地）、その他の見学や訪問、故

宮、天安門広場、万里の長城等の名所、旧跡などの参観、また中国人達との文芸交換等、強行なスケジュールでしたが、その中にも、楽しい思い出の旅行でした。

八月十四日、朝、上海に入港、船の上から見る上海は樹木の中に建物が建っている様に見える、感じる。日本とは違った変わった建物、



北京・万里の長城にて。山崎さん

それらを見てのうちにやっとならなってきたという実感が腹の底からこみあげて、興奮せずにはいられなかつた。それから二十三日夜、天津新港を出港するまでの間に感じた中国の印象は、なによりも毛主席を尊敬し、その教えを忠実にまっとうしている。この言葉の一言につけると思っています。

たとえば、人民公社の場合は、毛主席の八字憲法、●土（土壤改良）●肥（施肥）●水（かんがいと排水）●種（品種改良）●密（合理的密植）●保（病虫害の防除）●管（管理の改善）●工（農機具の改良）にしたがって、昨年まで十三年の豊作、今年も豊作がみこまれるとの事。それに「農業を基礎とし、工業を導き手とする。その農業重視政策は、農民に、自信と希望を与え、農民はそれに応えて頑張る。その姿に

は、うらやましい限りである。またそれと同時に、隣の大國で、多勢の人達が農業で頑張っていると思うと、心強い。それでも農業に対して云える事は、機械化が遅れている。農作業のほとんどは人海作戦で行なわれている現状です。それでこれからは、機械化、自動化の方向にむかわなければならぬ」と公社の幹部の人が話していました。

また我々の行った、天津第一六中学校では、「思想教育（個人の思想を高め、志をたて、国家の為に大きな志願を持つ、そして社会主義社会の自覚を持たせる）」と「階級教育（昔の苦しみをおこし、今の幸福をかみしめる）」を行ない、学生には勉強（中国では頭脳労働という）ばかりでなく、肉休労働もさせる。その実践活動

として、一年のうち、二カ月間は現場に出て働く。二カ月のうち、一カ月間は工場、一カ月間は農村へ行くというのである。また、それらを補うために学校農場も持っているそうです。

今は夏休み中にもかかわらず、色々なクラブ活動を見せてもらった。クラブ活動は実践に役立つようになっている。たとえば製図、今書いてる物は、ある工場にたのまれたもので、と云われたし、生物の実験は農作物の益菌・培養を行っていた。また、ハリ治療も中学を卒業したら、農村に行つてはだしの医者（中国では赤脚医生という）になること。そのほかのクラブもこれに似たようなものでした。以上の様な事でも、日本とは異なつた、社会や教育方針です。それら、ひとつひとつの見学に、我々は、驚くやら、感心するやらの連続でした。

今の中国は、中国の人も認める通り、技術的にも遅れているし、まだまだ貧しい。しかし、西暦二〇〇〇年までに、世界の一流国にもっていくという。その熱意は人民公社、工場など、あらゆる所で感じられた。八億余りの人々が心一つにして、あと二五年で「世界一」になる。その意気込み、それは我々、第三者的にみて、実に気が持たされた。また数年後、行つてみたい。そして、その時の変貌ぶりを自分の目で確かめてみたいものだ。

島原本村 山崎一栄 記

日中友好親善に一役

